

命

の授業

学校だより

笑顔 本小う子Ⅲ

11月号⑥
2025.11.12(木)



文責 本宮小校長 佐久間仁



助産師の吉岡先生を講師にお招きして、「命の授業」を行いました。五年生の授業では、赤ちゃんがお母さんのおなかの中ですくすくと育つて、元気に生まれてくることを分かりやすく教えていただきました。自分の命は、自分だけのものではない、みんなに守られて大きくなつたことを知り、周りの方への感謝の気持ちをもつことができました。

六年生の授業では、生まれもつた性と自分が自覚する性の違いなどについて、事例をもとに分かりやすく教えていただきました。自分の命だけでなく、他の命も大切にできる人になつてほしいと思います。

学習発表会を終えてⅣ

◇ぼくは、学習発表会をしました。ぼくが発表したのは、リコーダー奏の「レツツゴー・ソーレ」「パニッ

ク」と国語科で学習した「モチモチの木」です。心をこめて発表しました。「モチモチの木」では、「小屋のすぐ前に立っている、でつかいでつかい木だ。」のセリフを気持ちをこめて、ゆっくりと言いました。リコーダー奏の「レツツゴーソーレ」は、「ソラシドレ」のぶぶんがむずかしいので、休みの日にいっぱい練習をしました。そして、

本ばんにはできるようになります。リコーダー奏の「パニック」は、「ソラシ」だけでふける曲です。タシギングがすごくむずかしくて、「ソラシラソラシラ」のぶぶんもむずかしくて、扈休みの練習ですごくせんしました。あきらめずに練習をつけたら、本ばん前にはできるようになりました。四年生になってからも、リコーダーがあれば、うまくえんそうしたいです。(三年 悠)

◇今日は、学習発表会がありました。自分の命だけでなく、他の命も大切にできる人になつてほしいと思います。

△市内小・中学校のPTA会長、校長、学校運営協議会長、教育委員が一同に会して意見交換会が行われました。会では、全国学力・学習状況調査及びふくしま学力調査の結果や、市の重点施策などについての報告があり、それらをもとに中学校区ごとに分かれて、話し合いを行いました。

意見交換会



【学力調査の結果（おもなもの）】

○全国学力調査では、全体的に正答数が低い児童は少ないことから、個別指導やきめ細かな指導の成果が出ているといえる。一方で正答数が多い児童も少ない傾向が見ら

生の歌を聞いていて、なつかしいなあと思っていたら、いつの間にか自分たちの番になつてしまつて、あわててステージに行きました。ステージに立つた時、まずは、発表を見に来ているお母さんとおばあちゃんとお父さんをさがしました。三人ともすぐに見つかりました。朗読の時、お母さんの方を見ながら読んでいました。お母さんは二コ二コしながら聞いてくれていました。うれしかったです。来年も一生けんめいがんばろうと思います。(三年 律)

れ、ほとんどの学校で中間層に多く分布している傾向が見られる。○生活習慣（朝食、起床・就寝）やウェルビーイング・自己肯定感（自分のよさ）、人とのかかわり（いじめ、困りごと）、学校生活（学校が楽しい）に関する項目で、全国

○ICT活用では、ICT機器の活用が学習意欲の向上につながっている。ICT機器の活用により学習内容の理解が深まっている。平均以上の結果が出ている。

【協議】

○Aードリルを朝自習や授業における学習内容の補充などに活用している。筆順などがあいまいでも正解になつてしまることがあるので、指導する際には注意が必要。板書を見ながら鉛筆でノートに書く活動も大切にしていきたい。

○授業のほか、授業以外のすきま時間を使って、学習内容の補充に取り組んでいる。Aードリルのよさ（効率性、予算面）を理解し、どう活用に結び付けるかが課題。

○各教科において授業中の個別指導に活用している。高校入試では書く力が必要なので、書く力が袁えないように配慮する必要がある。

○ICTでは、トラブルの発生も起こり得るので、ICTのよさを生かすとともに、情報モラル教育も同時に進めることが大事。